

1 次の微分方程式の中から、2階定数係数線形微分方程式をすべて選びなさい。

- (ア) $y''' - 2y'' + 8y = x^2 - 1$ ← 3階微分方程式
 (イ) $y'' + 5xy' - 6y = \cos 2x$ ← 線形だが定数係数でない
 (ウ) $y'' - 3y' - y = 0$
 (エ) $y'' + 7y' - 6y = e^x \sin x$

(解答欄) (ウ) (エ) [5点]

2 次の定数係数線形同次微分方程式の一般解を求めなさい。

[各5点]

(1) $y'' + 6y' + 9y = 0$

補助方程式は

$$t^2 + 6t + 9 = (t + 3)^2 = 0$$

となり、これは $t = -3$ (重解) をもつので、一般解は

$$y = (c_1 + c_2x)e^{-3x}$$

である。

(2) $y'' + 7y' + 12y = 0$

補助方程式は

$$t^2 + 7t + 12 = (t + 3)(t + 4) = 0$$

となり、これは異なる2つの実数解 $t = -3, -4$ をもつので、一般解は

$$y = c_1e^{-3x} + c_2e^{-4x}$$

である。

(3) $y'' + 2y' + 4y = 0$

補助方程式は

$$t^2 + 2t + 4 = 0$$

となり、これは実数解を持たず、解は $t = -1 \pm \sqrt{3}i$ である。よって、一般解は

$$y = e^{-x}(c_1 \sin \sqrt{3}x + c_2 \cos \sqrt{3}x)$$

である。

3 次を求めなさい。 [各5点]

(1) $\frac{1}{D^2 - 2D - 3}e^{3x}$

$$\begin{aligned} \frac{1}{D^2 - 2D - 3}e^{3x} &= \frac{1}{(D-3)(D+1)}e^{3x} = \frac{1}{D-3} \cdot \frac{1}{D+1}e^{3x} \\ &= \frac{1}{D-3} \cdot \frac{1}{3+1}e^{3x} = \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{D-3}e^{3x} \\ &= \frac{1}{4}e^{3x} \int e^{-3x}e^{3x} dx = \frac{1}{4}e^{3x} \int dx = \frac{1}{4}xe^{3x}. \end{aligned}$$

一方、

$$\begin{aligned} \frac{1}{D^2 - 2D - 3}e^{3x} &= \frac{1}{D+1} \cdot \frac{1}{D-3}e^{3x} = \frac{1}{D+1} \cdot e^{3x} \int e^{-3x}e^{3x} dx \\ &= \frac{1}{D+1} \cdot e^{3x} \int dx = \frac{1}{D-(-1)} \cdot e^{3x}x \\ &= e^{-x} \int e^xe^{3x}x dx = e^{-x} \int e^{4x}x dx \\ &= \frac{1}{4}e^{-x} \int (e^{4x})' x dx = \frac{1}{4}e^{-x} \left(e^{4x}x - \int e^{4x} dx \right) \\ &= \frac{1}{4}e^{-x} \left(e^{4x}x - \frac{1}{4}e^{4x} \right) = \frac{1}{16}e^{3x}(4x - 1) \end{aligned}$$

でもよい。

(2) $\frac{1}{D-2}(x^2 - 2x + 2)$

逆演算子の展開

$$\frac{1}{1-aD} = 1 + aD + a^2D^2 + \dots + a^nD^n + \dots$$

を利用する。

$$\begin{aligned} \frac{1}{D-2} &= -\frac{1}{2-D} = -\frac{1}{2} \cdot \frac{1}{1-\frac{1}{2}D} \\ &= -\frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{2}D + \frac{1}{4}D^2 + \frac{1}{8}D^3 + \dots \right) \end{aligned}$$

より、

$$\begin{aligned} &\frac{1}{D-2}(x^2 - 2x + 2) \\ &= -\frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{2}D + \frac{1}{4}D^2 + \dots \right) (x^2 - 2x + 2) \\ &= -\frac{1}{2} \left\{ (x^2 - 2x + 2) + \frac{1}{2}(x^2 - 2x + 2)' \right. \\ &\quad \left. + \frac{1}{4}(x^2 - 2x + 2)'' + 0 + \dots \right\} \\ &= -\frac{1}{2} \left\{ (x^2 - 2x + 2) + \frac{1}{2}(2x - 2) + \frac{1}{4} \cdot 2 \right\} \\ &= -\frac{1}{2} \left(x^2 - x + \frac{3}{2} \right) \\ &= -\frac{1}{4} (2x^2 - 2x + 3). \end{aligned}$$

4 定数係数線形微分方程式

$$y'' - 4y' + 4y = 2x^2 - 2 \quad (*)$$

の一般解を求めなさい。なお、(*) の特殊解が

$$y = ax^2 + bx + c, \quad (a, b, c \text{ は定数})$$

となることを利用してもよい。

まず、(*) の右辺を 0 とした同次方程式

$$y'' - 4y' + 4y = 0$$

の一般解を求める。補助方程式は $t^2 - 4t + 4 = (t - 2)^2 = 0$ で、この解は $t = 2$ (重解) なので、一般解は

$$y = (c_1 + c_2x)e^{2x}$$

である。【5点】

次に、(*) の特殊解を求める。特殊解は、 $y = ax^2 + bx + c$ と書けるので、

$$y = ax^2 + bx + c, \quad y' = 2ax + b, \quad y'' = 2a$$

を (*) に代入すると、

$$\begin{aligned} 2a - 4(2ax + b) + 4(ax^2 + bx + c) &= 2x^2 - 2 \\ \iff 4ax^2 + (-8a + 4b)x + (2a - 4b + 4c) &= 2x^2 - 2 \\ \therefore \begin{cases} 4a = 2 \\ -8a + 4b = 0 \\ 2a - 4b + 4c = -2 \end{cases} \end{aligned}$$

を得る。この連立方程式を解くと、 $a = \frac{1}{2}, b = 1, c = \frac{1}{4}$ となる。よって、(*) の特殊解 (のひとつ) は

$$y = \frac{x^2}{2} + x + \frac{1}{4}$$

である。なお、逆演算子の計算 (演算子の展開) によって、特殊解を求めることもできるが詳細は省略する (逆演算子の展開については、[3] (2) の解答を参照)。【5点】

以上のことから、(*) の一般解は

$$y = (c_1 + c_2x)e^{2x} + \frac{x^2}{2} + x + \frac{1}{4}$$

となるのがわかる。【5点】

部分点について 定数係数同次微分方程式の一般解を求める設問については、(i) 補助方程式をつくって解を求めることと、(ii) その解の特性によって一般解の形 (3 パターン) が決まることを理解していると認められれば、4 点加点する。

その他の問題についても、部分点として 2 点加点することがある。

5 定数係数線形微分方程式

$$y'' + 2y' + 3y = 4 \cos x \quad (\#)$$

の一般解を求めなさい。なお、(\#) の特殊解が

$$y = a \sin x + b \cos x, \quad (a, b \text{ は定数})$$

となることを利用してもよい。

まず、(\#) の右辺を 0 とした同次方程式

$$y'' + 2y' + 3y = 0$$

の一般解を求める。補助方程式は $t^2 + 2t + 3 = 0$ で、この解は $t = -1 \pm \sqrt{2}i$ (ただし、 i は虚数単位) なので、一般解は

$$y = e^{-x}(c_1 \cos \sqrt{2}x + c_2 \sin \sqrt{2}x)$$

である。【5点】

次に、(\#) の特殊解を求める。特殊解は、 $y = a \sin x + b \cos x$ と書けるので、

$$y = a \sin x + b \cos x, \quad y' = a \cos x - b \sin x, \quad y'' = -a \sin x - b \cos x$$

を (\#) に代入すると、

$$\begin{aligned} (-a \sin x - b \cos x) + 2(a \cos x - b \sin x) \\ + 3(a \sin x + b \cos x) &= 4 \cos x \\ \iff (2a - 2b) \sin x + (2a + 2b) \cos x &= 4 \cos x \\ \therefore \begin{cases} 2a - 2b = 0 \\ 2a + 2b = 4 \end{cases} \end{aligned}$$

を得る。この連立方程式を解くと、 $a = b = 1$ となる。よって、(\#) の特殊解 (のひとつ) は

$$y = \sin x + \cos x$$

である。なお、逆演算子の計算により、以下のようにして特殊解を求めることもできる。

$$\begin{aligned} \frac{1}{D^2 + 2D + 3}(4 \cos x + 4i \sin x) &= \frac{1}{D^2 + 2D + 3}(4e^{ix}) \\ = \frac{4}{i^2 + 2i + 3}e^{ix} &= \frac{4}{2(1+i)}(\cos x + i \sin x) \\ = (1-i)(\cos x + i \sin x) &= (\cos x + \sin x) + i(\sin x - \cos x). \end{aligned}$$

よって、

$$\frac{1}{D^2 + 2D + 3}(4 \cos x) = \cos x + \sin x$$

を得る。【5点】

以上のことから、(\#) の一般解は

$$y = e^{-x}(c_1 \cos \sqrt{2}x + c_2 \sin \sqrt{2}x) + \sin x + \cos x$$

である。【5点】